

**第60回茨城県発明工夫展
茨城県発明協会会長賞を
受賞しました**

11月3日から6日にかけて、茨城県総合福祉会館で第60回茨城県発明工夫展が開催され、五霞東小学校5年生の中村莉彩さんの作品「しめかたがわかるかぎカバー」が、茨城県発明協会会長賞を受賞しました。

この作品は、かぎをかぎ穴に入れるとスイッチが押し込まれるので、そのスイッチをいれればかぎを閉めたかどうかを確認できるものです。



中村さんは、この作品を「母が家の鍵を閉め忘れていないか不安になって家に帰ることがよくある」という話を聞き、母のために、家に戻らなくても鍵を閉めたかが分かるようにしたい。」という想いを込めて作りしました。



**障害者雇用優良事業所の
表彰がありました**



11月22日、県庁において障害者雇用に積極的に取り組む事業所などの表彰があり、当町からは株式会社全農・キユーピー・エッグステーションが障害者雇用優良事業所として表彰されました。

主な受賞理由として、障害者雇用率4・51%（法定雇用率20%）や特別支援学校からの実習生の積極的な受け入れと採用、重度聴覚障害者の配属部署で周りの従業員が簡単な手話を学び手話による意思疎通が行われている等となっています。

五霞中学校にて認知症サポーター養成講座を開催しました

12月5日、五霞中学校体育館において、全校生徒を対象に認知症サポーター養成講座を開催しました。

この講座は、認知症への理解を深め、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者を養成するものです。今まで、大人の方を対象に行ってきた講座ですが、今回初めて中学生を対象に開催しました。みなさん、真剣な表情で聞いていました。



**五霞中学校、東・西小学校で
租税教室が行われました**

11月11日に五霞中学校（3年生対象）、12月1日に西小学校、7日に東小学校（共に6年生対象）にて租税教室が行われました。



租税教室は、次代を担う児童、生徒が租税の意義や役割を正しく理解し、社会の在り方を主体的に考えるという自覚を育てることを目的としています。

講師の松本幸子さん（古河法人会）の手作り資料では、税金の種類や仕組みが分かりやすく伝えられました。

机や教科書にも多くの税金が使われていることを知った児童は、物を大切にしてしっかり勉強できる環境に税金の大切さを感じた様子でした。

みなさんが租税教室で学んだことと感じた気持ちを大切にして、将来、社会で活躍することを願っています。